

2021/10/23

都民向け金融セミナー 基礎からわかる金融の知識と サステナブルファイナンス

投資の基礎知識編

フィナンシャル・ウィズダム

<http://financialwisdom.jp/>

Twitter: @yam_syun

山崎俊輔



簡単な自己紹介

YAHOO! ニュース
JAPAN



financial
wisdom
ファイナンス・ワイズダム

- ◆ 「お金と幸せ」を考えるFP
- ◆ 「お金の知恵」を伝える投資教育家 (年金教育家)
- ◆ 年金と資産運用に関するコラムを書いたり、話してます
- ◆ 座右の銘は「疑いは知の基である。よく疑う者はよく知る人である。」 (寺田寅彦 知と疑い)

AllAbout
あなたの明日が動き出す

東洋経済
TOYOKEIZAI
ONLINE

lifehacker
PRESIDENT
Online

ハピママ*

ビジネスの“本音”に迫る
BJ Business Journal

日経新聞電子版で「FP
山崎のLife is Money」
毎週月曜連載中です

日本経済新聞

R 楽天証券

月200
~300万
PV



新刊
発売中!

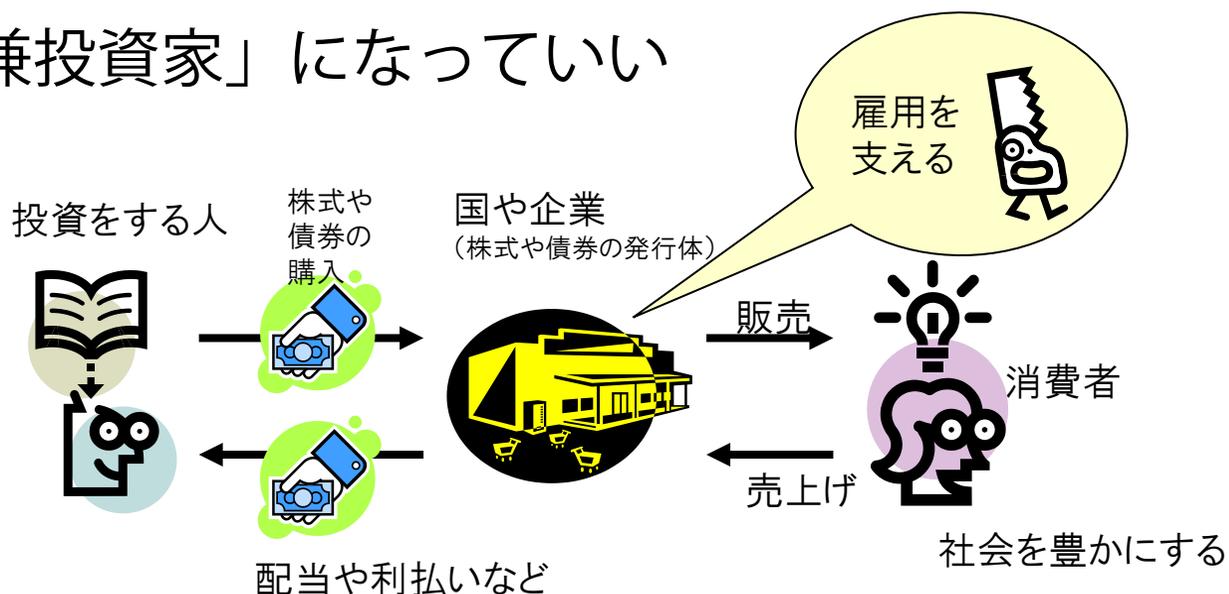
▶ 投資の基礎知識

iDeCoとつみたてNISA

金融機関・金融商品の選び方

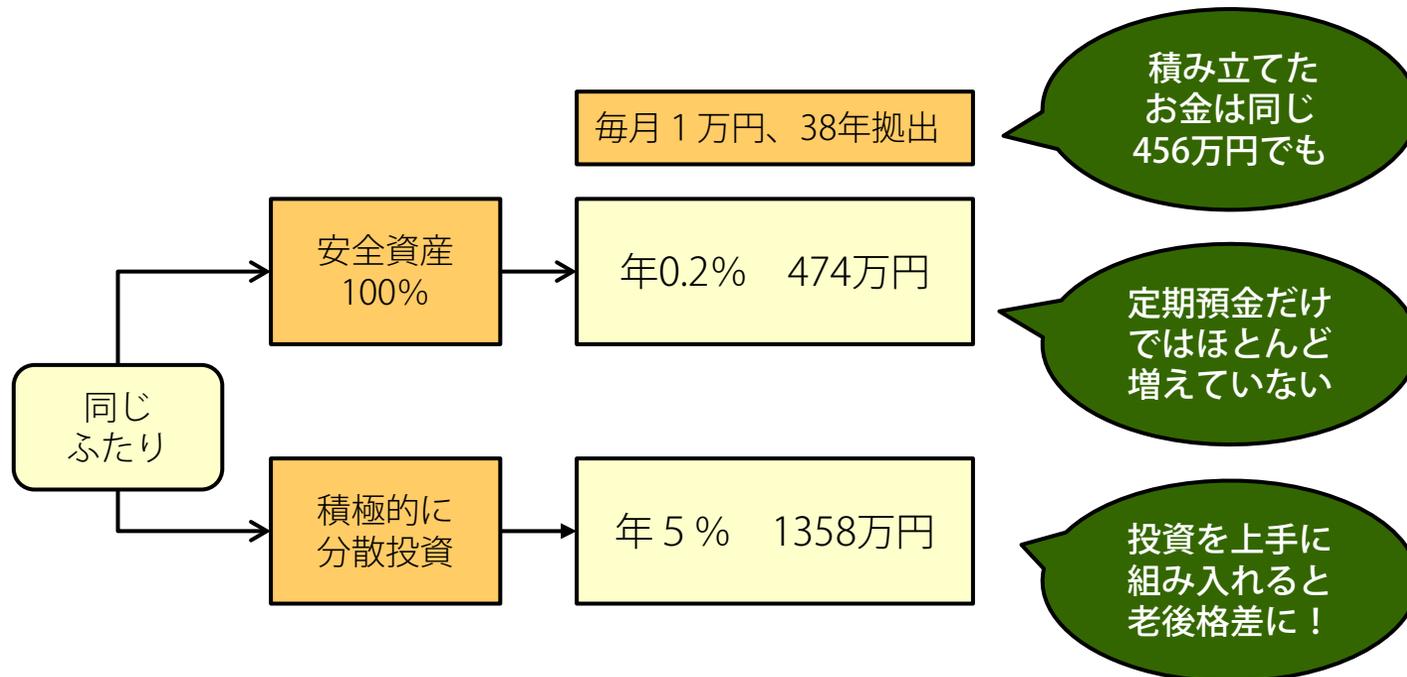
投資は世の中が成長していくと、 自分のお金が増えるしくみ

- ◆ 投資は一部の金持ちのマネーゲームではありません
- ◆ 投資は、投資した企業が成長し、社会が豊かになり、経済の成長を通じて自らの資産も増やすことのできるしくみ
- ◆ 株価の値上がりも期待されるが、約1.9%ともいわれる配当が株主に行われることも魅力
- ◆ 会社員は「会社員兼投資家」になっていい



運用の差は「未来の差」になるかも

- ◆ 「21世紀の資本」でピケティが言った「 $r > g$ 」は富裕層と勤労者の格差問題だけではない
- ◆ 同じ勤労者のあいだでも「投資をした人」と「投資しなかった人」の格差が生じうることを示していると考えてみたい



少しずつ、長く積み立てをする

- ◆ 毎日コーヒー1杯くらいのお金も、人生を通じて貯めることができれば1000万円に財産になりうる（ラテ・マネー）
- ◆ 少額でもいいので、早く、長く続けることで大きなお金に「育つ」

毎日一杯スタバのラテ
（トールサイズ370円）と
同額を40年積み立てると・・・



積立投資の
効果は大！

複利効果の
力は大！



5 %
1717万円



4 %
1330万円



3 %
1042万円



2 %
827万円



1 %
664万円



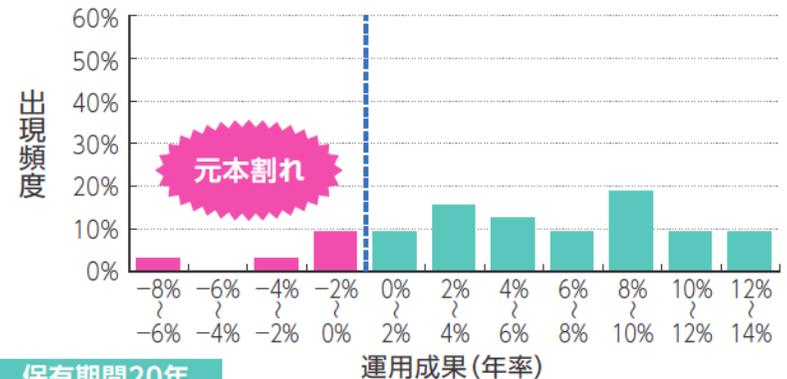
0 %
540.2万円

長期投資を始めたらどうする？

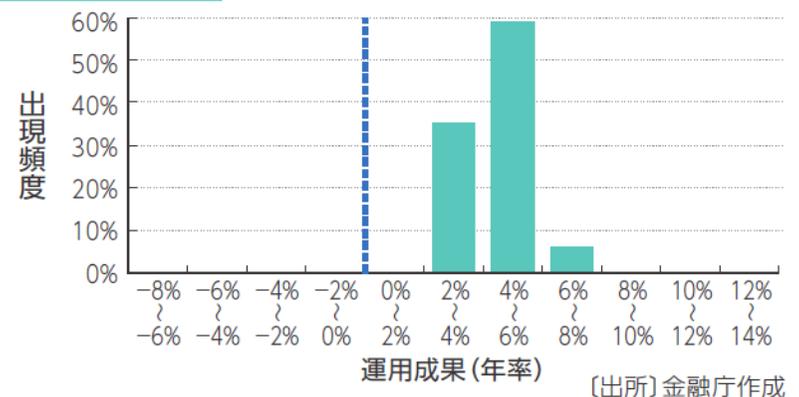
- ◆ 投資を始めると、価格は上がったり下がったりします
- ◆ しかし、毎月の「掛金」で何を買うかどれくらい投資をするかを決めたらその後はほったらかし（いい意味で）でいい
- ◆ 株価が下がっていても、いつか戻るなら…
 - 損しているときに売ってしまうのは一番もったいない
 - 下がっているとき積立の中断はしない
- ◆ 「売る」のは儲かったとき限定くらいに考え「時を待つ」
- ◆ もし売りたいなら、相場ではなく「自分」を顧みて「部分的な売り」をする

資産・地域を分散して積立投資を行った場合の運用成果の実績【保有期間別（5年,20年）】▲1

保有期間5年



保有期間20年



〔出所〕金融庁作成

なぜ「長期」「積立」「分散」か

- ◆ 「長期」「積立」「分散」をたくさんのFPがアドバイスする理由は为什么呢

- ◆ 理由1： 誰でも実行できる
- ◆ 理由2： 自動化することができる
- ◆ 理由3： 失敗する可能性が低くなる
- ◆ 理由4： 未来は分からないと認める
 (でも長い目で見て経済は成長する)

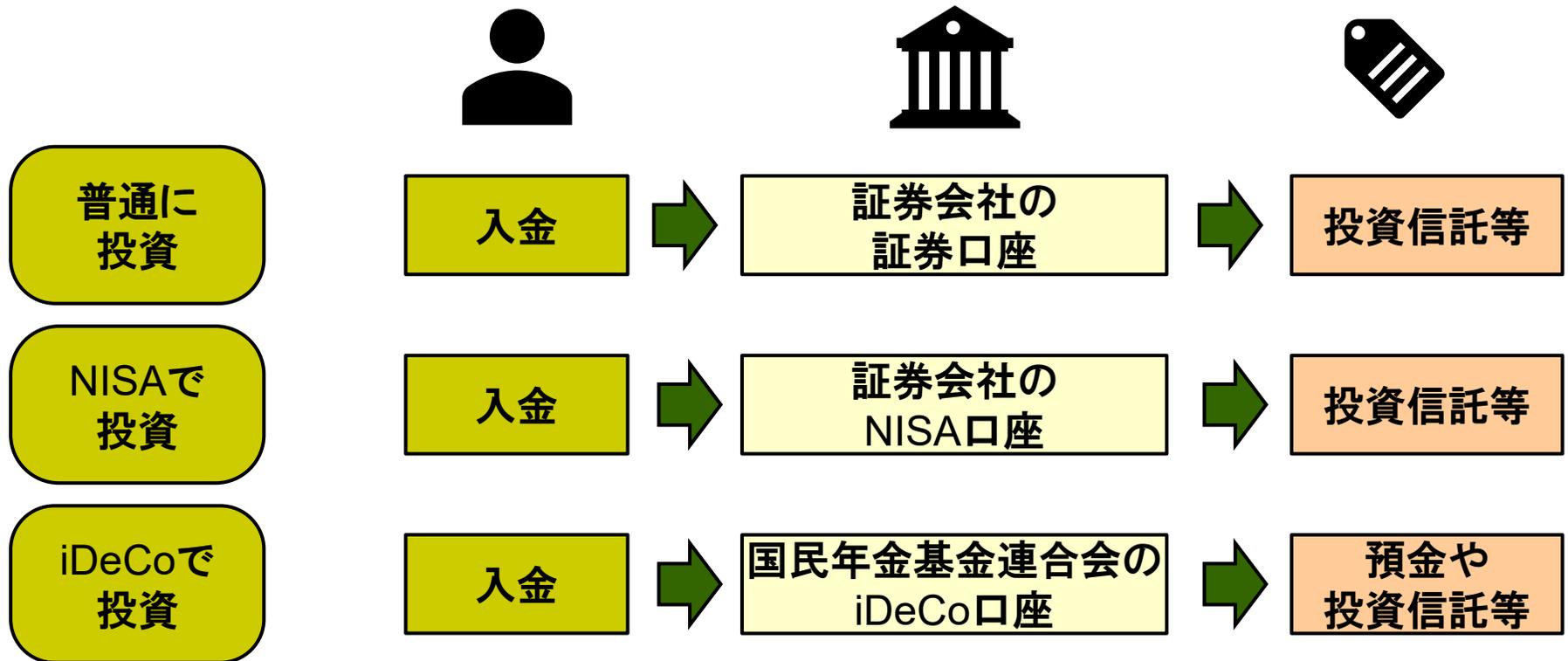
投資の基礎知識

▶ iDeCoとつみたてNISA

金融機関・金融商品の選び方

iDeCoとNISAは「器」と考える

- ◆ iDeCoとかNISAという金融商品があるわけではありません
- ◆ iDeCoやNISAは「投資信託」などの金融商品を納める器
- ◆ この器を上手に使うと税金で得をします



iDeCo、現役世代なら誰でも入れます

- ◆ 2017年1月、公務員、企業年金のある会社員、専業主婦はiDeCoに加入可能になり、現役世代は基本的にiDeCoを利用できる仕組みに
- ◆ 企業型確定拠出年金がある人も2022年に無条件で入れるように法改正

本人 拠出	会社員 (企業型DCあり)	会社員 (企業型DCとDBあり)	会社員 (確定給付型 の企業年金あり)	会社員 (企業年金等 なし)	公務員	自営業者等 (第1号被保 険者)	専業主婦 (第3号被保 険者)
今まで	マッチング拠 出により可能	マッチング拠 出により可能	不可	月額2.3万円 (年27.6万円)	不可	月額6.8万円 (年81.6万円)	不可
現在 (2017 年1月)	月額2.0万円 (年24.0万 円)※1	月額1.2万円 (年14.4万 円)※2	月額1.2万円 (年14.4万円)	月額2.3万円 (年27.6万円)	月額1.2万円 (年14.4万円)	月額6.8万円 (年81.6万円)	月額2.3万円 (年27.6万円)

さらに法改正

※1 マッチング拠出を実施している場合は利用不可
また、個人型DC加入を認める場合、企業型DCの
拠出限度額が年24万円引き下げられる

※2 マッチング拠出を実施している場合は利用不可
また、個人型DC加入を認める場合、企業型DCの
拠出限度額が年14.4万円引き下げられる

iDeCoは3つの税制優遇がポイント

- ◆ 自分の老後のために積み立てていて、自分の財産扱いなので確実に自分のものとなるのに税金がトクする！
- ◆ 積立額や運用利回りが同一でも、税制メリットだけで100万円の差が生じることもありうる

＜＜積み立て時点で得！＞＞
個人型確定拠出年金の掛金はすべて非課税

自分の老後に備えれば
所得税/住民税が軽減

＜＜運用時点で得！＞＞
確定拠出年金内で得られた利息、売却益、
収益分配金等はすべて非課税

自分の老後に備えた
運用は非課税で手取り増

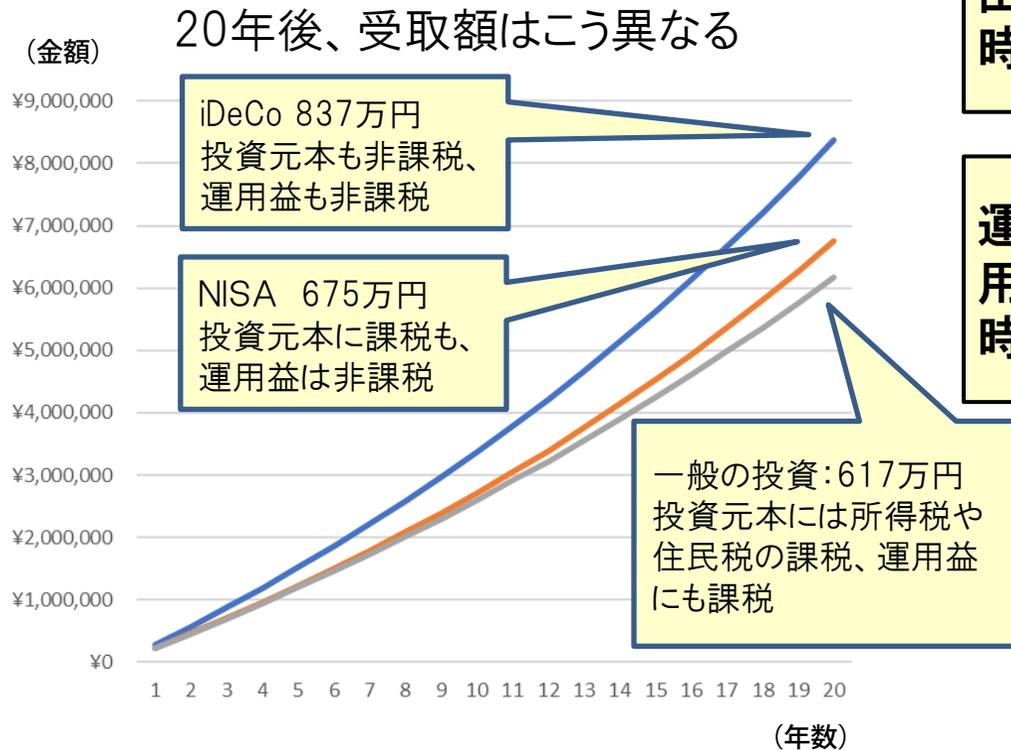
＜＜受け取り時点で得＞＞
一時金でもらえば退職金扱いの税制優遇が適用、
年金でもらえば公的年金扱いで優遇税制

受け取り時に課税も
税額は軽微か無税に

税制メリットを比べてみると

- ◆ 積立額や運用利回りが同一でも、税制メリットだけで受取額に差

実際に稼いだお金が、引かれずそのまま資産形成に



時期	投資方法	課税前	課税後
拠出時	DC	¥23000	¥23000
	NISA	¥23000	¥18400
	一般の投資	¥23000	¥18400
運用時	DC	4%	4%
	NISA	4%	4%
	一般の投資	4%	3.2%

利息や配当、収益分配金、売却益には原則20%課税

※課税前所得23000円を20年にわたり毎月積立。所得税・住民税を20%と仮定、課税前運用利回りはいずれも年4%で同一とし、税制メリットを比較した試算例。なお、iDeCoについては月額167円の口座手数料を徴収している

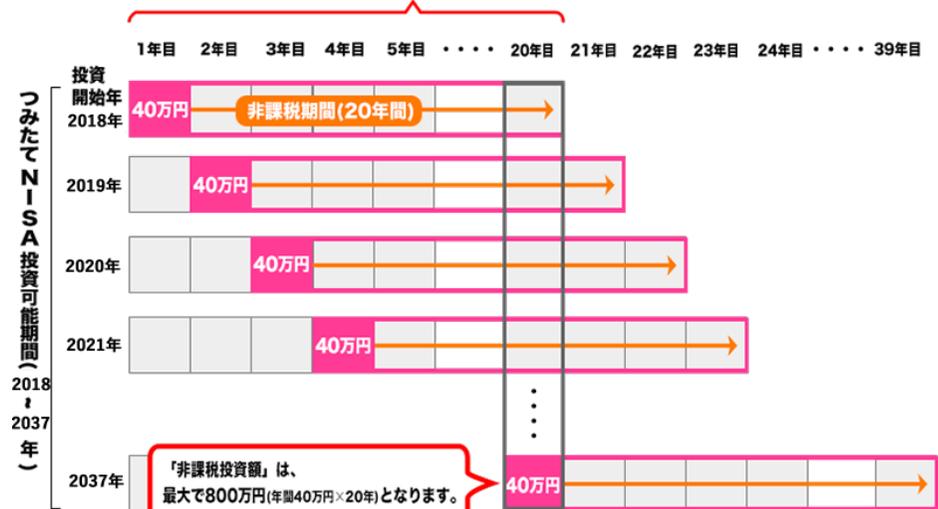
NISAとつみたてNISAも投資が非課税

- ◆ NISAとは少額投資非課税制度のこと
つまり「運用で得られた利益が非課税」になります
- ◆ NISAとつみたてNISAは毎年の投資限度額、非課税期間、
購入できる商品の範囲などが異なります
- ◆ 投資初心者で年40万円の範囲が十分なら
つみたてNISAをおすすめします

つみたてNISAイメージ(金融庁HP)

※2018年から投資をした場合の図

非課税期間は**20**年間



◆ 注意点

- NISAはひとり1口座
(NISAかつみたてNISAか
ひとつを選ぶ)
- iDeCoもひとり1口座
- NISAとiDeCoは同時開設可
- 夫婦で2口座は可

投資の基礎知識

iDeCoとつみたてNISA

▶ 金融機関・金融商品の選び方

iDeCoかNISAか比較ポイントは

制度名	NISA	つみたてNISA	iDeCo	財形年金
利用範囲	20歳以上なら誰でも利用可		20歳以上60歳未満なら原則として誰でも利用可能（さらに法改正予定）	財形制度のある会社員や公務員が利用可
年間拠出額	年120万円（2024年に増額予定あり）	年40万円	立場により異なる（年14.4万円～年81.6万円）	（自由）
拠出累計の上限	元本600万円（5年累計）	元本800万円（20年累計）	上限なし	元利550万円（財形住宅と合算）
商品性	リスク性商品のみ（株式、投資信託等）	一定要件を満たすリスク性商品	安全性商品、リスク性商品のどちらも選べる	基本的に預貯金
税制優遇	課税後拠出 譲渡益非課税 受取時課税なし		掛金は非課税（所得税・住民税軽減）、譲渡益非課税 受取時課税（退職所得控除等が適用され軽減）	課税後拠出 利息非課税 受取時課税なし
解約条件	期間内いつでも解約可能 ただし、売却チャンスは一度限り		60歳まで原則として解約不可能（老後のための虎の子資産と考える）	5年以上積立 いつでも解約可能だが 目的外利用などペナルティ課税あり
	投資期間が5年目の年末まで（ロールオーバーし10年目まで繰越可能）	投資期間が20年目の年末まで継続できる	何度売り買いしても税制優遇が続く	

投資の始め方は実はとても簡単

- ◆ 「まとまったお金」がなくても今すぐ投資を初めてOKです
 - 株も数万円で買えます
 - 実は100円から世界中に投資ができます
- ◆ 口座開設はほとんどスマホでできます
 - 免許証等をカメラで撮影して送信！
- ◆ 知識が足りないなら金額を少なくスタートしましょう
 - 経験は得られ、失敗したときの損失額は少なくなります
- ◆ 自動的に引き落としして積み立てができます
 - 自分で入金の手間をかけるとサボります

基本的な口座選び

- ◆ 基本的には「税制優遇の大きい口座を優先」する
 - 所得控除のある「iDeCoファースト」
 - 掛金枠も小さいので優先的に利用する
 - 夫婦であれば「WiDeCo」も検討する

- ◆ iDeCoの解約制限が気になるか、iDeCo枠を使い切ったら
 - つみたてNISAないし一般NISAを活用
 - こちらも夫婦なら「WNISA」が可能
 - 預貯金も非課税積み立てしたいなら「財形年金」を併用

口座開設の方法

NISAを始めるには

- ◆ 金融機関を選ぶ（検索サイト「つみたてNISAナビ」などを活用）
 - ◆ 口座開設書類を取り寄せ、記入・送付する（本人確認あり）
 - ◆ 証券口座を同時に開設することが原則
 - ◆ 口座開設後、証券口座に資金を入金し購入（つみたてNISAの場合は積立日、積立金額、購入商品を指定すれば自動積み立てできる）
- ※ 売却益非課税は手続き不要

iDeCoを始めるには

- ◆ 金融機関を選ぶ（検索サイト「iDeCoナビ」などを活用）
 - ◆ 口座解説書類を取り寄せ、記入・送付する（本人確認あり）
 - ◆ 自分の銀行口座からの引き落としか会社の給与振込口座からの天引きか選ぶ
 - ◆ 掛金額と購入する商品を設定する
 - ◆ 口座開設後、翌月以降自動的に指定日（毎月26日）に引き落とされる
- ※ 年末に会社の年末調整を行うか翌年の確定申告で還付金を受け取る